

平成30年 第2回議会定例会

29年度
一般会計
補正予算

大好評17軒 若者定住促進 マイホーム取得補助



29年度若者定住促進マイホーム取得補助金は
総額1308万円

30年の第2回議会定例会は2月27日から3月20日までの22日間にわたって開催されました。
町側から、29年度一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認1件、29年度一般会計補正予算（第7号）のほか各特別会計・事業会計の補正予算6件、条例の制定3件、条例の一部改正13件、人事案件4件、町道の廃止1件、30年度8会計の予算が提案され、すべて

原案どおり可決、承認、同意しました。また、受理した陳情3件のうち2件を採択とし、1件を不採択としました。

平成29年度 一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出それぞれ1億7408万円を減額し、総額71億4579万円とするものです。

〈歳入の主なもの〉

歳入歳出それぞれ1億7408万円を減額し、総額71億4579万円とするものです。	環境保全施設整備交付金	886万円
国庫補助金		
国庫負担金		
保険基盤安定（国保・保険者支援分）	231万円	
寄附金		
いのちを守る森づくり寄附金	232万円	
財政調整基金繰入金	2105万円	
町債		
防災無線デジタル化事業		
△1億2750万円		
いのちを守る森づくりは市川海老蔵さんの植林プロジェクト		

〈歳出の主なもの〉

ジェクト「ABMOR」に対するものです。	若者定住促進マイホーム取得等補助金	200万円
○防災無線デジタル化事業は指名競争入札により減額となったものです。	ブランド農業推進費	81万円
	国立公園整備費	1773万円
	道路除排雪など道路維持費	9034万円
	国民健康保険特別会計繰出金	467万円
	○ブランド農業推進費は、ブランドの晩腐病対策費です。	
	○国立公園整備は志賀高原遊歩道の整備などに充てられます。	

第112号
平成30年4月25日
(2018)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 西 宗 亮
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101 (有)2020
E-mail
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

議会ホームページと
議会フェイスブックは
町ホームページからアクセス



もくじ

3月定例会関連記事……………	26
一般質問……………	28
請願・陳情、全員協議会……………	39
議会報告会……………	40
予算審査……………	41
みんなのひろば・追悼……………	43

小林民夫議員逝く

小林民夫氏は昨年1月頃より病と闘いながら議員を続けられ、3月31日に急逝されました。（享年66）



27年当選（無投票）以来、前期で社会文教常任副委員長などを歴任、29年6月から30年3月まで広報常任副委員長などの職務を全うされました。

議会だより29年10月号の編集会議で、得意の俳句を面白く解説するなど元氣な姿が思い出され、惜別の念に堪えません。

ここに小林民夫氏の生前の功労を称え謹んで哀悼の意を表します。

固定資産税3年間免税

地域経済牽引事業の起業に

条例の制定・一部改正16件のうち、国民健康保険条例・個人情報保護条例・介護保険条例の各一部改正は賛成多数で、他13件は全会一致で原案通り可決しました。

条例の制定

地域経済牽引事業の促進に係る固定資産の課税免除に関する条例

地域特性を活かした産業への1億円（農業は500万円）以上の投資について、高付加価値の創出、10%以上の雇用者給与拡大などの経済的効果が見込まれる事業には、取得した施設と当該土地の固定資産税を3年間免除するものです。

条例の一部改正

個人情報保護条例

個人情報保護の定義を特定の個人が識別し、識別され得るものから氏名、生年月日、



地域特性を活かした経済牽引事業を呼び込めるか

反対討論

渡辺 正男
行政機関等がもつ個人情報、個人が特定できない

個人識別符号など具体的に、実施機関が開示制限できる記録情報に個人識別符号を加えるなどとする改正です。

よませどんぐりの森公園条例

クロスカントリーコース

よう「非識別加工」して民間事業者に利活用を可能とさせようとするもの。国民は、どんな自己情報が集められているかを知り、不当に使われないよう関与する自己決定権を持っている。条件付きで個人の医療情報などを業者にビッグデータとして活用させることは、個人情報保護を危険にさらすことにつながる。とても賛成できない。

国民健康保険条例

国民健康保険税の資産割を引き下げるものです。資産割の詳細は、国保税分27・7%を23%に、後期高齢者支援分9%を7.5%に、介護保険支援分7.9%を6.5%にするものです。

反対討論

渡辺 正男

県から示された事業納付金は4億9186万円余り。今回の保険税改定は、資産割を6年間かけて7%ずつ下げて廃止し、3方式に移行。値下げ分は年約600万円、合計1億円の基金繰り入れで対応とのことだが、もともと高すぎる保険税と2億2000万円もの基金残高は、保険給付費の過大見込みが原因だ。基金があるからといって一般会計からの法定外繰り入れを打ち切ることは許されない。

後期高齢者医療に関する条例

住所地以外（県外など）

のグループホームなどの施設に入所する後期高齢者に住所地特例（以前住んでいた住所地の医療保険適用）を可能とするものです。

介護保険条例

30年度から32年度までの保険料を定める改正です。保険料は所得により違いですが、基準となる第5段階の保険料が月額5300円から5400円に100円値上げするものです。

反対討論

渡辺 正男

第一号被保険者の保険料を、第5段階の標準で年額6万4800円に改定。本来月額8000円値上げが必要なところを基金活用で100円に抑えたとのこと。29年度末の基金見込みは2億1300万円であり、1人当たり4万4000円にもなる。サービス利用量の過大見込みの原因分析と真摯な反省が不可欠。基金を全額活用すれば、値上げどころか月2500円値下げできる計算になる。

人事案件

農業委員会委員の任命

上原 仁	寒沢
蟻川 実	横倉
藤浦 忠広	本郷
望月 美知子	下須賀川
山本 光一	佐野
北原 元明	戸狩
宮崎 眞太郎	沓野
徳竹 栄子	竜王
養田 朋子	菅
吉池 洋一	中須賀川
瀧澤 敏	上条
宮津 好男	前坂
青木 孝一	宇木
望月 芳文	下須賀川

固定資産評価員の選任

任期 平成30年4月14日まで
柳澤 直樹（副町長）
任期 平成30年4月1日から
固定資産評価審査委員会委員の選任
山崎 廣一 宇木

任期 平成30年4月3日から33年4月2日まで
倉並 一良 上条
任期 平成30年6月17日から33年6月16日まで

町道廃止

仲屋敷独古橋線（戸狩）

ズバリここが知りたい

論戦 国際友好交流、地域公共交通、民泊など

3月1日、2日、5日の3日間にわたり行われました。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

今議会の登壇議員は10人、傍聴者は24人でした（大勢の傍聴をお待ちしています）。

①	 山本 良一	1. 野猿公苑について 2. 白根火山噴火について 3. ベイル町との友好交流について 4. 楽ちんバスについて
②	 児玉 信治	1. 小学校一校統合に向けてのタイムテーブルについて 2. 町教育振興基本計画について 3. 中学校長寿命化改修について 4. 耐震対策事業について 5. 町からの区への役職依頼について
③	 高田 佳久	1. 後期基本計画の中間年となる平成30年度当初予算は 2. 入館者増を目指す志賀高原ロマン美術館の運営および周辺整備に対する考えは
④	 山本 光俊	1. ジュニアスキー育成連絡協議会について 2. ベイル町の国際友好都市との今後の事業構想は
⑤	 布施谷裕泉	1. 子育て環境の充実に向けて 2. 地域や世代を超えて支え合える福祉・生活保障の充実に向けて 3. どんぐりの森公園一帯の再整備について
⑥	 湯本 晴彦	1. ベイル町との提携の今後について 2. 町の各種計画について 3. 消防団再編について 4. 民泊について
⑦	 渡辺 正男	1. 友好交流自治体、災害時応援協定締結自治体との交流の現状と今後について 2. スポーツ推進計画の実践にどう取り組むか 3. 区行政に所属しない住民の現状と町の対応は 4. 志賀高原総合会館98の運営管理について
⑧	 小淵 茂昭	1. 町行政の運営にあたり 2. 災害対策は確立されているか 3. 消防組織の体制整備の再構築を 4. 2020年オリンピック開催にあたり
⑨	 高山 祐一	1. 観光振興について 2. 住宅宿泊事業法（民泊新法）について 3. ふるさと寄附金について 4. ドローンの活用について 5. 小澤ルームについて 6. ピースフルガーデン入口喫煙所について
⑩	 望月 貞明	1. 地域公共交通について 2. 県森林税とその事業について 3. 心肺蘇生教育と危機管理体制について 4. やまびこ広場改修計画について

野猿公苑の雪道で転倒するなどの事故はあるか

観光商工課長—遊歩道での救急搬送は5件

【質問】 野猿公苑に来苑された観光客の雪道での事故はあるか。

観光商工課長 遊歩道の部分では、12月1日から2月19日まで5件で、昨年比2件の減少。要因は、本年から階段部分以外の除雪をこまめにやっていることと、関係機関による、スリッパに関する広報が、行き渡ってきたからと推測する。

建設水道課長 外国からの観光客が増加して来た26年頃から凍結した道路で転倒されるお客様が多いという苦情はある。

事故の程度や人数は集計してはいないが積雪時の除雪に加え、朝夕の散布車による融雪剤の散布、関係者に対して融雪剤の配布をする対応をしている。



やまもと りょういち
山本 良一

※：筆界未定…土地所有者が一筆地調査に立ち会わない場合や現地を確認していただけない場合、また立ち会っても最終的に境界が決まらない場合は、所有者・地番・地目・境界の確認ができなかったということで、「筆界未定」という処理をする。

歴史を踏まえたうえで将来を見据え、大局的に判断する。
言うは易く行うは難し。
しかし、進むしかない。

山本良一のつぶやき

上林旅館街の町道に歩道の設置要望はないか

建設水道課長 地元からは歩道の要望はない。ただ、2年ほど前、温泉を利用した融雪施設の設置ができなにか検討したことはあるが、当該町道敷地の土地の一部が筆界未定になっているこ



どこからどこまでが町道なのか

となどから断念した経緯があり、境界の問題が解決されないことと事業の導入はとも難しいと言わざるを得ない。

【質問】 融雪は地元からの要望がとも強い。筆界未定のせいでダメと言ったが、将来的に問題はないのか。
建設水道課長 現地は多く

の観光客がいらつしやるので、手を入れて行きたいと考えてはいるが、今のままでは現道の修繕という形でアスファルトを敷き直すくらいはできるが、改良となると、問題が解決しないと手は入れられないので将来的には、粗悪な道路になつてゆくという懸念はある。

【質問】 境界問題が解決がしないと粗悪になつてもどうしようもないということか。
建設水道課長 一番は筆界未定の土地を所有されている方々が、事業に同意して協力していこうという姿勢になれば、おのずと問題も解決されると思うが、現段階では歴史的に非常に難しい場所と、聞いており、どうなるかは想像できない。

早く方向性を出すべきでは

【質問】 地元・町・議員も交えてこの道路を何とか解決していただきたい。
建設水道課長 町の目玉という場所ですのでそうなるべきと思っている。

どうすれば解決に進むと思うか

建設水道課長 筆界未定の場所が道路がかなり所有地に入り込んでいてという点が原因と聞いているが、土地を所有する方々が大局的にみて、道路をどう良くしていくかという見地に立ち、団結していくしかないと思う。

将来的に小学校2校存続が可能では

教育長——1校統合という方向は変えない



こだま しんじ
児玉 信治

小学校1校統合について

質問 統合問題は、先送りとなった。いつどのように決定され、その内容は。

町長 小中一貫校や施設問題、より良い教育環境の提供などの課題があり熟慮の結果、引き続き十分な検討が必要と判断した。

教育長 8月29日開催の総合教育会議において方針を決定した。内容については将来、1校統合という方向は変えない。34年度に、中学校敷地内へ小学校校舎を増築して統合することはない。当面、現3校体制を



基礎調査で断念された小学校併設予定地

続け、出生数が50〜60人程度が継続する見込みとなった時には、改めて1校統合を進める、との結論にいた

質問 将来、1校統合する場合、新設も選択肢のひとつと答えているが中学校

敷地内に再度、併設する可能性があるのか。

教育長 可能性はゼロではない。新設という意味は中

学校の敷地内に新たに校舎を建てる、あるいは新たな場所が選定できれば、選択肢のひとつということだ。

質問 30年から35年までの児童数は400人弱で推移する。2校存続が可能と考えるが、そうすることにより既存の校舎がそのまま使用できるか。

教育長 教育委員会としては、適正規模・適正配置審議会の答申のように、1学年は複数学級が望ましいという方向性は大事にしたい。

2校統合でいけるといふ見通しが立たない限り、1校統合は避けて通れないということだ。

男女共同参画社会

質問 町教育振興基本計画では、「意識醸成」とあるが、どのような施策を考えているか。また現状は。

町長 女性団体の存続も厳しい状況だ。女性参画社会を目指しているが、逆の方向にいくこと自体が非常に残念である。今後とも行政施策として支援していきたい。

教育長 男女共同参画社会を推進する「教育・学習の促進」、「性別・役割分担意

500m 金メダル
主将 100花 繚乱
子どもたちへのメッ
セージ 与えられる
ものは有限、求める
ものは無限
人間として 金メダル

児玉信治のつぶやき

識の是正」の2点を重点施策としている。学校においては、子どもたちの成長に合わせた意識を醸成するとともに、性別にとらわれない人生設計を考えるキャリア教育の実施を推進し、家庭や職場、地域における男女共同参画および女性の人権について学習できる機会を提供していく。

町からの役職依頼

質問 高齢化・人口減により困難な地区もあるが。

町長 自助・共助・公助によるまちづくりのために地域の協力が必要であり、ご協力をお願いしたい。

30年度予算における編成方針は

町長—暮らし・仕事・人づくり予算として編成

質問 11項目の選挙公約達成に向けて、予算編成で特に留意した点は。

町長 住民要望を聞きながら、財政面や社会情勢などを加味し、元気な町づくりを目指し進めている。

質問 社会体育施設の整備は、具体的な検討を何年度にスタートするのか。

町長 具体的な検討はしていない。

国の方針は長寿命化を基本に公共施設を15%減少としているため、既存施設を活用している。

質問 後期基本計画期間内で検討しているが、32年度までに検討に入るのか。

町長 期間内での検討を目指しつつも、社会情勢などを加味し総合的に判断する。公共施設整備等検討会議でも、十分検討していか



予算決算審査委員会における30年度予算の審査

ければと思っている。

質問 旧北小学校施設の利活用に対する進展は見られないが、今後の政策展開は。

総務課長 地元で組織している協議会と何度か打ち合

わせをしているが、意見の統一がはかられていない。研究費として一応予算計上した。

質問 国民健康保険税の改定状況は。

健康福祉課長 資産割を7.6%引き下げ、全体で平均1.5%の引き下げとした。

質問 将来的に資産割は。

健康福祉課長 県の運営方針では3方式（所得割・均等割・平等割）としているため、3年ごとの見直しに併わせ、6年を目途に廃止していく方針。

質問 国民健康保険制度が改正され被保険者の関心が高まる中、1月29日の協議会を非公開とした理由は。

健康福祉課長 税率改定という重要案件であったため、委員の皆さんが意見を出しやすい会議としたため。

質問 会議公開の原則により、今後は協議会の公開を。健康福祉課長 意見を踏まえ、公開・非公開について

検討していきたい。
質問 今回のやまびこ広場整備は、総合的な整備計画となるのか。

観光商工課長 全世代の住民や観光客に楽しんでもらえるという点では、総合的な整備と考える。

多額の事業費をかけて大規模な整備を行うものではなく、必要かつ無駄のない整備を進めることで、理解を得ているところ。

質問 過日、説明会を開催しているが状況は。

観光商工課長 1月10日に観光関係者14名、2月19日に各保育園の保護者代表5名へ説明会を開催し、利用方法や安全対策などの意見があった。

人口流出や少子高齢化に歯止めがかからない中で、過熱する自治体の移住者誘致合戦は、本当にいいのか。

高田佳久のつぶやき

スキー振興のさらなる充実を



やまもと みつとし
山本 光俊

※1：SAJ…全日本スキー連盟 Ski Association of Japan の略称。

※2：志賀高原 Let's スキー…スキーの楽しさをたくさん子どもたちに知ってもらい、これから出会う多くの仲間たちに伝えてほしいとの願いから町で主催しているスキー振興施策。

町長―伝統を絶やさぬよう支援していく

【質問】 ジュニアスキー育成連絡協議会の今後の展望は。

【教育長】 少子化が進んでもスキーの伝統を絶やさぬよう対策を講じる。

【質問】 協議会の29年度予算原案はどこで作成されたか。

【教育長】 事務局を務める教育委員会で作成した。

【質問】 作成の要点は。

【教育長】 北部地区スキー育成会で管理していたクロスカントリーコースの管理費を新たに計上し、また、3校への補助金を各10万円増額した。

【質問】 昨年の常任委員会で

は統合後、北小学校分の補助金を各校に振り分けると

の発言があったが。

【教育長】 そのような発言があり記録も残っているが、ひとつの案であり常任委員会で決定すると承知している。

【質問】 常任委員会で原案に

対し、要望や質問があったがそうならなかった。今後統合が進んでいく場合、その都度このような対応をしていくのか。

【教育長】 今後の統合などをどうするかは考えていない。

【質問】 予備費に総予算の10%となる126万円が計上されているが、適当と考えるか。

【教育次長】 今年はオリンピッククイヤーで海外遠征が多くなる可能性があることから予備費に組み必要に応じで使用すると考えた。

【質問】 今年度から未使用額を繰越金とせず町に戻すことになったのは何故か。

【教育次長】 協議会は100%町からの委託金で運営されている。性質上、未使用額を会計に留保するのは不適当だと考える。

【質問】 現在ジュニア選手の活躍は目を見張るものがある。オリンピッククイヤーでなくとも活躍の場が広がっていくことが見込まれる中で、これまでの仕組みを変え未使用額を差し戻すのは影響が出ると思うが。

【教育次長】 来年度事業については協議会と相談しながら進めていく。

【質問】 SAJでもジュニア育成の強化をはかっている。こういった動きに対応できるように、基金の積み立てや、

委託金ではなく補助金扱いにするなど、十分な配慮が必要と考える。

【質問】 スキー振興も協議会の業務になるが、志賀高原「ゆさスキーや小学校のスキー教室との連携や支援も必要になると思うが。」

【教育長】 指摘の思いも理解する。いろいろな声を聴いていきたい。

【質問】 義務教育で行うスキー教室は行政からの補助や支援体制の整備は必要。町のスキー文化の裾野拡大のためにさらなる取り組みを。

【教育次長】 協議会では100%町からの委託金で運営されている。性質上、未使用額を会計に留保するのは不適当だと考える。

【質問】 現在ジュニア選手の活躍は目を見張るものがある。オリンピッククイヤーでなくとも活躍の場が広がっていくことが見込まれる中で、これまでの仕組みを変え未使用額を差し戻すのは影響が出ると思うが。

【教育次長】 来年度事業については協議会と相談しながら進めていく。

【質問】 SAJでもジュニア育成の強化をはかっている。こういった動きに対応できるように、基金の積み立てや、

委託金ではなく補助金扱いにするなど、十分な配慮が必要と考える。

【質問】 スキー振興も協議会の業務になるが、志賀高原「ゆさスキーや小学校のスキー教室との連携や支援も必要になると思うが。」



山ノ内町はもとより、日本スキー界の先駆者である竹節作太氏（左から3人目）第2回冬季オリンピックサンモリッツ大会（昭和3年）

オリンピックに町出身者が出場すると盛り上がる。ここ4大会は出場を逃しているが、次の北京大会に期待したい。

山本光俊のつぶやき

切れ目ない子育てに向けて「子ども課」設置は

教育長—事例を見ながら今後研究していきたい

【質問】 子ども課設置のメリット・デメリットは。

【教育長】 メリットは子どもに関する窓口が一本化され、わかりやすくなること。デメリットは上部機関である国県との連携が難しくなる可能性があること。

【質問】 西小学校の放課後児童クラブ使用エリアがシャッターで仕切られている。管理上の対応としてもそこまでする必要は感じられない。所管の違いによるところが大きいのでは。

【教育長】 学校および放課後児童クラブとしての管理上設置している。ただ関係機関で十分協議し、情報共有しながら進めている。

【質問】 他市町村では機構改革で、子育て支援関連部門を福祉から教育委員会に移し成果が上がっている事例



「よませどんぐりの森公園」は親子で遊ぶにはもってこい
残念なことに町民にも知らない人が多い

がある。当町でも検討いただきたい。

【健康福祉課長】 一元化の事例は聞いているが課題もみえる。慎重に検討していきたい。

「よませどんぐりの森公園」一帯の再整備について

【質問】 「よませどんぐりの森公園」の利用状況は。

【農林課長】 公園の利用状況は確認できないが、活性化センターは28年度435回の利用。

【質問】 「よませどんぐりの森公園」はマレットゴルフ場や大きな芝生広場、親水池もある。北信五岳を望む眺望は格別なものがあり、何よりも国道に面して駐車場も広い。素晴らしい総合公園だが、十分に利用されていない印象がある。検証はされているか。

【農林課長】 素晴らしい公園との認識はあるが検証については今後検討したい。

【質問】 隣接する「玉村町」の森は玉村町で、どの様に紹介されているのか。

【総務課長】 広報内容と周知については承知していない。

【質問】 山ノ内町にも自分達の森があるということは、すぐく夢のあること。残念ながら知らない人が多いのでは。

【総務課長】 農林課ではメニューを作って提案しているが、友好交流においても伝えていきたい。

【質問】 玉村の森に接する「とりで街道」が昨年9月「新日本歩道道紀行100選」に認定されている。こういった情報は共有されているか。

【総務課長】 何かの記事で見た覚えはある。今後、管理職会議などで共有していきたい。

その他の質問項目

「高齢者住宅の除雪支援の拡充を」など

「やまびこ広場に噴水が本当に必要？」っていう声がなぜ聞こえないのだろう。

布施谷裕泉のつぶやき

ふせやひろみ
布施谷 裕泉

※：所管の違い…
放課後児童クラブは健康福祉課の所管、学校は教育委員会の所管。

時間を割くべきは計画ではなく実行



ゆもとはるひこ
湯本 晴彦

※：民泊…住宅宿泊事業法。宿泊用に提供された個人宅の一部や空き別荘、マンションの空室などに宿泊すること。住宅宿泊事業法が可決されて、民泊が認められた。

計画を作ることに時間を取られるのではなく、成果を出すことに時間を割くべき。

湯本晴彦のつぶやき

町長—作ったものに魂を入れていきたい

町の各種計画は

質問 全部でいくつあるのか。

町長 52の計画がある。

質問 中身そのものの簡素化は難しいのか。

総務課長 簡素化できるものについては簡素化していきたい。

質問 必要以上に計画に偏ると時間と体力を奪い、実行に時間を割けなくなる。計画はワクワクするもの。立てて終わったとにならないほしい。

町長 作った計画を、できてよかった、住民にPRしただけではなく、実践して



1泊5万円するホテル 宿泊単価が大きく違うペイル町を参考にブランドを作るのも手ではないか
(提供：トリップアドバイザー)

消防団再編は

生きた計画としていくことがつとめと考える。

質問 茨部ではポンプ車を返納したいという話があったが。

消防課長 東部分団のポンプ車ということで、筆頭部で持っている。東部だけでなく、南部でも相談がある。

質問 西部などのように分団で管理、自動車班という形式などの話は出ているか。

消防課長 出ている。

質問 部の合併や統合という考えはあるか。

消防課長 個人的な見解だが、東部分団の7部を3部に減らしていくとも考えている。

ペイル町との提携

質問 民間事業者の交流で渡航費補助として、人づくり補助金の海外適用は。

総務課長 当分の間対象としないということだったが、28年度・29年度は対象とした。

質問 ペイルとの提携で注目したいのは客単価。ちなみに泊った部屋はいくらくらいだったか。

総務課長 ペイル町の負担なので、承知していないが、一般的に1泊5万円と聞いている。

質問 我われには参考になる。人口が増えない時代、お客様単価を上げていくべき。高単価を狙うのは大事

***民泊の規制は**

な戦略になるのでは。
観光商工課長 重要だと思うが、料理や部屋、サービスの問題など検討していく必要がある。

質問 高単価を狙いたくても、民泊が入ると価格も安くなったり、サービスも悪くなる。日数の規制はするのか。

観光商工課長 学校などの敷地から100メートルの区域、住居専用区域、北志賀高原地区、湯田中渋温泉郷に規制をかける。湯田中渋温泉郷は5月の連休10日間、8月、10月から3月までを規制。

どうする 新たな社会体育施設整備

教育長—既存施設の利用度をみてから判断

新社会体育施設をどう整備していくのか

教育長

すがかわ体育館が休止中の社会体育館にかわり、学校活動の影響のない新たな社会体育施設となった。町内にはよませ活性化センターや志賀高原総合会館98などの既存施設がある。今後これらの施設の利用度、時期による利用頻度のデータをとり、財政面も考慮しながら整備を考えていく。

質問

住民アンケートでは、スポーツを行った場所について「町内の施設」が70人に対し、「町外施設や民間施設」が94人でトップ。町内スポーツ施設についてどう感じているかに「満足、どちらかという満足」が18人に対し、「不満、



社会体育館にかわる施設となりうるか（すがかわ体育館）

どちらかという不満」は141人で、圧倒的に不満の方が多。社会体育館にかわる新たな体育館については「設置しなくてもよい」が92人に対し、「設置してほしい」が196人だ。拠点となる新体育館を望む町

町長

民の意向が明確になったと思うが。公共施設15%削減の国の方針のもと、中学校の長寿命化、東部浄水場、防災無線の整備など、住民の生活や観光に関わるものに重点を置いている。決して

体育館をあきらめたわけではない。いろいろな状況を踏まえて考える必要があると思っています。

質問

スポーツでの観光振興が必要と考える住民が多数で、そのためにはスポーツ施設の充実・整備と282人が回答している。社会体育館は、平成16年に閉鎖されて以来、ずっと他の施設整備の後回しにされてきた。今回のスポーツ推進計画に期待したが、なんの目新しい予算措置もなく、本気度は伝わってこない。

教育長

せめて新たな体育館整備のために基金積立や調査費だけでも計上するなど考えられないか。

教育長

今ある施設の利用状況を把握し、公共施設等検討会議とも連携して進めていければと思っています。

区や組に属さない町民の行政サービスは

質問

議会報告会で出た話で、サービス付き高齢者住宅にお住まいの方から「長寿を祝う会へのお誘いがなく、寂しかった」という声を聞いた、とのことだが。

総務課長

どうして招待がなかったのかよく分からないが、広くお声がけされることが望ましい。

質問

公民館への町委託事業なので、区民でなければ案内がいけないのでは。

教育長

区や組に属さない対象者については、中央公民館が申し込み窓口になっている。

質問

行政サービスにも漏れがあるのではないか。もっと問題意識を持つべきだ。



わたなべ まさお
渡辺 正男

「友達に国境はない」と小平選手が教えてくれた。スポーツの力はスゴイ。

渡辺正男のつぶやき

災害対策は確立されているか

町長—あらゆる災害を想定した準備と心得が重要



おぶち しげあき
小渕 茂昭

※：100年確率…稀にしか起こらないような極端な大雨の強度や頻度が、平均的に何年に1回起きるかを表した値。

災害は覚えているうちにやってくる。

小渕茂昭のつぶやき

自然災害への対応は

質問 想定外災害の研究や検討はしているか。

危機管理室長 地域防災計画において、風水害では100年確率の日雨量300ミリを想定し、地震についてはマグニチュード7.5から8の災害を想定している。

質問 自主防災の実情と機能性はどうか。

危機管理室長 各行政区で17の自主防災組織が結成され、訓練や講演会を開催し活発に活躍いただいている。

消防組織の体制整備を

質問 消防団の現状を把握しているか。その改革は。

町長 町消防防災委員会において実態把握し、今後のあり方を検討したい。

質問 現実に合わせた消防団条例の見直しをするべき

時期と思うが、その方針は。

消防課長 非常勤消防団員の年額報酬は19年間変更してない。近隣市町村を参考に検討したい。

町長 今の報酬がいいのかを含め、関係者の意見をお聞きし十分協議していきたい。

質問 現職団員の生の声はどう生かされているか。

消防課長 町消防団組織として、分団長会や部長会を通じ、それぞれ消防団員の意見を拾っている。各種消防事業の反省や改善点の声を今後に反映し、必要に応じ、町消防防災委員会で検討していきたい。

新年度予算の重点施策は

町長 総合計画や具体的・重点的に取り組むべき項目を掲げたイノベーション戦略プラン実施計画に沿い、事業経費を計上している。安心・安全、観光と農業の振興、福祉や教育の充実は行政としてゴールのない目標であり、産業の振興は人口対策にとっても大変重要な課題と認識している。

質問 30年度予算には、よませ保育園駐車場の設置案や予算案が見えないが。

健康福祉課長 逆駐車（右側）は解消したが、駐車場

東京オリンピック開催で

質問 観光地としての受入れ計画はどうか。

町長 インバウンド推進の施策を詰めており、国立公園満喫プロジェクト展開事業などを実施していく。

質問 ホストタウンの役割と具体的内容は。

総務課長 中国を相手国とした交流を進め、密雲区との機運の醸成をはかっている。



29年10月の台風21号は記憶にないほどの水害（横倉）

「SNOW MONKEY PARK」に

建設水道課長—前向きに考える

【質問】 冬期間、沓野区天川地区に外国人旅行者の運転する車が入ってきて困っている。何とかできないか。

【観光商工課長】 迷いやすい部分には看板設置が必要だ。地元や観光関係者から要望のあった場所には、現地を調査し順次設置している。

【質問】 黒川橋と和合橋には「上林・地獄谷方面」の横断幕が設置されているが、「SNOW MONKEY PARK」と表記したほうが迷わないのでは。

【建設水道課長】 その横断幕によつて迷わず現地に行けると思われるので、前向きに考える。

もっと多くの特産品が

【質問】 ふるさと寄附金が28年度1億7000万円、29



外国語表記にしないと温泉寺の方へ迷いこんでしまう

年度1億5000万円、減額の主な原因は。

【総務課長】 すべての返礼率を3割以下に抑えたこと、一時の加熱が落ち着いてきたことと思われる。

【質問】 9月議会では、新商品を追加しラインナップを変え、取扱事業者や返礼の品を増やしなが推進する

とのことだったが。

【総務課長】 ラインナップに載せてほしいとの要望がなかったので増やしていない種類については充実していると思っている。

近未来はドローンが活躍

【質問】 観光、農林、防災の

観点でドローンを活用すべきと考えるが。

【観光商工課長】 志賀高原や北志賀高原の美しい景色のプロモーションビデオは、今後ともドローンを活用したい。

【農林課長】 猟友会の皆さんや県と連携を取りながら研究していきたい。

【危機管理室長】 災害の状況確認には活用が考えられる。

【消防課長】 山岳遭難、山火事、一般災害についても、今は平面で見て対応しているが、ドローンの活用により3次元の映像が見られて有効だと考える。

小澤先生と生徒のきずな

【質問】 小澤ルーム30は誰のためのものか。

【教育長】 あくまでも山中の生徒と小澤先生とのきずなを深めることを確認をするためにつくった。小澤先生とお話をするときもそういう趣旨である。観光客や一般市民のためにはつくっていない。

煙たくていく気がしない

【質問】 ピースフルガーデン入りの喫煙所設置目的は、町長 平和あふれる庭園として整備した。喫煙所をつくったつもりはない。ガーデンを見ながら日頃のストレス発散をタバコを吸いながらしてもらいたい。

【質問】 ガーデンの入り口にあるため、嫌いな人はそのドアさえも開ける気がしない。

愛煙家はたばこ税がこんなにあると言う、タバコ嫌いは後の医療費のことを言う。タバコ論争はいつも楽しい。

高山祐一のつぶやき

楽ちんバス、湯田中の医院経由は



もちづき さだあき
望月 貞明

※：水源涵養林（水源涵養保安林）…雨水を吸収して水源を保ち、あわせて河川の流量を調節するための森林。水源林。

総務課長—今は考えていない

【質問】 楽ちんバスの利用目的で一番多いのが通院で目的

的地は中野市と湯田中。湯田中駅行バスを医院地区經由ルートに延伸は。

【総務課長】 今のところ考えていない。

【質問】 楽ちんバスの中野市への乗り入れは。

【町長】 町民要望は承知している。関係する皆さんの意見を聞きながら、公共交通会議で十分検討していく。

バス2台体制は

【質問】 現状は過密ダイヤで乗り残しやスピードなどの問題がある。本格運行では、料金徴収業務も加わる。バ

スを増やし2台体制にすべきと思うが。

【総務課長】 利用者が少ないバス停や時刻表の見直しで余裕が出ると思う。車両の

追加までは考えていない。

やまびこ広場の噴水は幼児の水遊び施設か

追加までは考えていない。

【観光商工課長】 親水であり、水遊び施設である。

【質問】 水遊びならプールの方が幅広い年齢層に対応できる。アンケートでも小学生から成人までプール設置要望が上位にある。

【観光商工課長】 過去に、町民プールは経費が掛かり過ぎて廃止した経緯があり、プールは選択肢になかった。

【県森林税が10年経過、町内の間伐事業の進捗は

【農林課長】 間伐は毎年やっている。民有林は3000町歩を超え、正確な面積は把握していないが、整理伐、

間伐をやったとは言い難い。

【質問】 水源涵養林の状況と急傾斜地での砂防目的の間伐、植林などの実施は。

【農林課長】 水源涵養林は県直轄の治山事業で分らない。

【建設水道課長】 急傾斜地は県が指定する。ここでの植林はやっていない。

【質問】 山林と農地の境界は道路になる場合が多い、境界付近の樹木が大きくなり、路上を覆っている所もある。これらの伐採は。

【農林課長】 県にみんなで支える里山整備事業がある。現地を確認し、これに適合すれば県に要望していく。

【教育長】 文科省から通達がないので答弁しかねる。



高齢者が湯田中駅からここまで歩くのは難儀

「二兎を追うものは一兎をも得ず」が常識。「二兎を追って二兎をゲット」米国で振った二刀流。天性は「ことわざ」を超える。

望月貞明のつぶやき

みなさんからの 請願・陳情

受理番号	件 名	陳 情 者	採決結果
第1号	耐震診断・耐震改修に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 小河 節郎 一般社団法人長野県建築士事務所協会 中高支部支部長 鈴木 文夫	採 択
第2号	最低制限価格の設定に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 小河 節郎 一般社団法人長野県建築士事務所協会 中高支部支部長 鈴木 文夫	不採択
第3号	国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 小河 節郎 一般社団法人長野県建築士事務所協会 中高支部支部長 鈴木 文夫	採 択

議会全員協議会

第2回（1月18日）

- (1) 執行機関からの提出案件
- ①JOCジュニアオリンピックカップ全国ジュニアスキー競技会兼日本ジュニアスキー選手権大会の開催
 - ②居宅介護支援事業所の廃止
 - ③地域活動支援センター「まめの家」の運営委託
 - ④損害賠償請求事件
 - ⑤農業委員会委員の任命
 - ⑥ベイル町との友好都市の締結

第3回（1月18日）

- (1) 議会からの提出案件
- ①議会報告会資料のパワーポイント確認および練習

第4回（2月27日）

- (1) 執行機関からの提出案件
- ①国民健康保険税の税率改定

- ②第2期データヘルス計画および第3期特定健診等実施計画
- ③高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画
- ④中学校長寿命化改修工事
- ⑤損害賠償請求事件
- ⑥ベイル町との国際友好交流協定に関する覚書

第5回（3月20日）

- (1) 執行機関からの提出案件
- ①教育振興基本計画
 - ②スポーツ推進計画
 - ③30年度税制改正
 - ④財務書類
 - ⑤楽ちんバス運行時刻等改正
 - ⑥再生可能エネルギーの対応
 - ⑦過疎地域自立促進計画（28～32年度）の一部変更

第6回（3月20日）

- (1) 議会からの提出案件
- ①議会報告会報告書の確認
 - ②議長諮問中間答申
 - ③29年度議会活動費決算報告
 - ④子ども議会

第7回（4月6日）

- (1) 議会からの提出案件
- ①小林民夫議員の逝去にともなう今後の議会運営

お詫びと訂正

本誌1月号16ページ補正予算の見出しと17ページの歳出の金額、23ページ一般質問の見出しに誤りがありました。

正しくは下記の通りです。

●国立公園満喫プロジェクト展開事業 400万円

●足立区とカーボンオフセットの取り組みを

お詫びして、訂正いたします。

30年度一般会計予算

2年連続70億を超える大型予算可決

やまびこ広場改修に7100万円

予算審査は3月5日予算決算審査委員会（委員長 高田佳久、副委員長高山祐一）に付託。6日から4日間、審査を行いました。本会議で一般会計予算は賛成多数（賛成10反対2欠席1）で可決しました。特別会計予算では、国民健康保険特別会計と介護保険特別会計は賛成多数（賛成10反対2欠席1）で可決、他の特別会計と水道事業会計予算は全会一致で可決しました。争点となったやまびこ広場リノベーション事業については、測量設計に500万円、工事費に6600万円の合計7100万円の予算です。財源はふるさと基金（寄附分）から3000万円、残りは過疎債で調達することになっています。

部会意見

一般会計

《共通》

○旧北小学校施設整備は、小さな拠点づくり事業を活用し積極的に進めること。

○やまびこ広場リノベーションの実施設計にあたっては、子育て支援・観光振興に資するよう配慮すること。

《総務費》

○楽ちんバスの運行は、利用者ニーズに対応できるよう整備すること。

○ホームページの運用にあたっては、使いやすく見やすい構成にすること。

○国際交流・友好都市等交流は、成果が上がるよう体制強化をはかり進めること。

《民生費》

○子育て環境の向上については、ニーズの把握とすみやかな情報の共有化につとめること。

○生活習慣病の発症予防・重症化予防のための健康ポイント事業は、十分な周知をはかること。

○障害者福祉計画に基づいて、障がい者にやさしい

町づくりを具現化すること。

《衛生費》

○産後ケア事業は出産・育児の不安解消に向け、適切なサポートにつとめること。

《農林水産業費》

○新規就農者・後継者の確保は、実効が上がるようつとめること。

《商工費》

○案内看板の整備はピクトグラムを活用し、住む人訪れる人にわかりやすい表示にすること。

《土木費》

○空き家対策は実態を踏まえ、将来を見据えた計画を立てること。

《消防費》

○地域防災無線の整備は、戸別受信機の運用およびメール配信システムの構築に万全を期すること。

《教育費》

○スポーツ推進計画の理念のもと、目標達成にむけて取り組むこと。

○中学校長寿命化改修工事においては、生徒の学習環境が損なわれないよう

に十分配慮すること。

○教育振興基本計画における各分野ごとの課題解決に向け、具体的に取り組むこと。

特別会計

《国民健康保険特別会計》

○保険者努力支援制度の評価を上げるよう、積極的に取り組むこと。

《介護保険特別会計》

○地域支援事業は、地域住民との連携に向けて支援体制を構築すること。

《公共下水道事業特別会計》

○し尿受け入れ施設建設にあたっては、環境保全に万全を期すること。

《水道事業会計》

○東部浄水場の計画は、現施設の処分を含め整備すること。

一般会計予算 に対する討論

反対

布施谷裕泉

「やまびこ広場」整備自体に反対するものではない。特に子育てに関する環境整備は必要と考える。お母さんたちの声にも「水辺を楽しめる公園」などの要望は強いが、噴水設備については疑問の声が多い。課題としていたアクセス道路整備で安全が十分確保されないまま、見切り発車になりそうなこと、また噴水ありきとなっている整備内容には納得できないため本予算には反対する。

渡辺 正男

こども医療費の現物給付化は、県制度分に加えて、町単分にも広げた努力や高校生通学定期券購入補助率拡大、新規就農者雇用支援事業の新規導入、マレットゴルフ場施設修繕、福祉乗り物乗車券給付事業拡充は評価する。やまびこ広場リノベーションは、住民への説明が未だ不十分。住宅リフォーム助成制度の復活を求めたい。スポーツ推進計画実践に対応する予算が見あたらないのは残念だ。

※ピクトグラム…情報や注意を示すために表示される視覚記号（サイン）。絵や図なので、言語に制約されずに内容の伝達を直感的に行える。

総括意見

予算決算審査委員会 委員長 高田 佳久

国の月例経済報告（2月）では、「景気は、緩やかに回復している」とし、個人消費は、持ち直しているとの見解だが、観光・農業を基幹産業とする当町では、実感を得られない。そんな状況の中、第5次総合計画後期基本計画の中間年となる30年度一般会計予算は、総額を前年度と同額の71億3600万円とし、29年度に続き70億を超える大型予算となっている。主な要因は、老朽化した公共施設の整備に充てる投資的経費と義務的経費となる人件費・公債費の増額である。

歳入では、町税を2555万円（前年度比1.6%）減の15億8070万円としている。給与所得が増加傾向である個人町民税では、1500万円（3.8%）増としているが、固定資産税は評価替えの年

度にあたるため、土地・家屋ともに下落することから2900万円（3.0%）減と見込んだことが、減額となった最大の要因である。町税は、自治体の収入の大きな柱であることから、引き続き滞納解消に向けての努力を重ね、収収の確保につとめられたい。

また、町債を1億2870万円（10.4%）減の11億1270万円とし、前年度に引き続き10億を超える発行を見込んでいる。主な要因は、中学校長寿命化改修工事、防災無線デジタル化、道路改良など公共施設の老朽化による改修費用となるが、将来にわたり負担を負うことになる過疎債などの起債をできる限り減少させるため、情報収集に努め国県の補助などを最大限に確保されたい。

歳出では、「暮らし・仕事・人づくり予算」として新たな21項目の事業や33項

目の拡充事業を計上している。地域公共交通対策としての楽ちんバス運行事業は、29年度の試行運行において順調に利用者数を伸ばしているが、30年度の本格運用では、永續する公共交通網となるよう運用をはかられたい。また、空白地帯の解消および広域的な連携を検討されたい。

移住・定住推進に向け若者定住促進マイホーム取得等補助、移住体験住宅運営事業などの情報提供を積極的に行うことで、補助の活用や移住体験の促進をはかり、人口減少対策につながるようつとめられたい。

インターン受入事業は、県内の大学等から学生を一定期間町内企業で受け入れ職場体験してもらった試行事業であるが、町内企業の社員教育、将来的な労働力不足の解消および企業の活性化など産業振興に寄与できることを期待したい。

農業振興として産地パワーアップ事業や新規就農者雇用支援事業は、生産量の拡大および離農対策として期待したい。

観光振興としてインバウンド推進や国立公園満喫プロジェクトは、効果的なプロモーションによる訪外外国人の獲得に向けた事業として取り組むことで、経済効果を期待したい。

後期基本計画イノベーション戦略プランを踏まえて、地域の優れた資源と特性を

生かした地域経済の活性化や若年層の流入・定着をはかるとともに、人口流出や少子化を食い止めるための各種施策を積極的に展開しているが、今後も国政等の動向について情報収集につとめ、実効性ある取り組みを継続して進められたい。そして、当町が町民・地域・行政の協調・協力による総合力を発揮し、持続可能な希望あふれる町となることを念願する。

賛成

山本 光俊

政策的経費が限られる中、基幹産業である観光と農業をはじめ子育てに係る予算が充実するなど全般に積極性と創意工夫が見て取れる。やまびこ広場リノベーションでは来訪者が安全に水遊びできる親水施設が整備される。1月に友好都市となつたバイル町では親水施設が何カ所も設置されており子どもたちの笑い声が響き渡っていた。リノベーションを契機に当町もそうなつてほしいと願う。

湯本 晴彦

やまびこ広場の親水施設の整備など、子育て環境を充実しようとする町の姿勢は評価できる。住む人に温もりのある予算だ。一方、訪れる人には少々物足りなさが残る。例えば、やまびこ広場をホタルの飛び交う公園として整備を進めれば、洪から穂波温泉を結ぶホタル街道となる。まさにユネスコエコパークらしい展開「住む人、訪れる人に温もりのある」予算となるのではないか。



やまびこ広場接続道路の改良も予算化されている

議会で取り組んでほしいこと

第11回議会報告会

第11回議会報告会は、1月21日（日）の北部公民館を皮切りに2月3日（土）のよませふれあいセンターまで町内5会場で開催しました。大勢の参加者の皆様に足を運んでいただき、多くのご意見ご提言をいただきました。ご協力をいただきました各地区の関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

各会場での主な質疑・提言

1月21日 北部公民館

質問 ベイル町との友好提携が決まった経緯を知りたい。

回答 阿部県知事の紹介から、相互の代表による訪問の結果、産業振興につながる魅力や高校生のホームステイなどの人材交流を考えた提携に至った。

質問 30年度から国民健康保険制度が変わると聞いているが、保険税はどうなるのか。

回答 財政運営が県に移管されるが、町が県へ収める

金額が多少上がったとしても皆さんからいただく保険税は「なるべく上げないようにしたい」というのが町の考え。

1月26日 東部上（和合会館）

質問 近年のスノーモンキーブームのため、ロマン美術館駐車場にゴミの放置が多くなっている。町として対応すべきでは。

回答 早急に所管課に伝え、現状把握について検討するように伝える。

質問 スノーモンキーを目

的とした外国人旅行者が道に迷っている。案内看板が「上林」とか「地獄谷」の漢字表記だ。英語表記への改善をお願いしたい。

1月27日 ほなみふれあいセンター

質問 防災無線の戸別受信機について、本予約はこれから受け付けるのか。保証金は1万円、月々の使用料は無料とのことだが、本気で普及を望んでいるのか。

回答 本予約はこれからだ。仮予約は機械の必要数の把握のため受け付けた。1000台程度の見込みだ。できるだけ多くの世帯への普及が理想だが有線放送の普及率や予算の制限も考慮すべきだ。メール配信の採用で隙間を埋める検討もしている。

1月31日 東部下（文化センター）

質問 やまびこ広場に係る予算の概要は。

回答 実施計画では、30年度に7000万円、31年度に7000万円、32年度に300万円を計上。親水公園・トイレ改修・スラックライン設置・バーベキュー広場整備などを予定。

質問 消防団では新入団員の確保が難しく、困っている。今後の消防団を行政はどう考えているのか。

回答 現状では、機能別消防団員や女性消防団を設置し消防力の強化および人員の確保をはかっているが、今後は団員の定数についてに検討も必要かと思う。

2月3日 よませふれあいセンター

質問 楽ちんバスの利用が好調のようだが、須賀川線について旧長電バスの時はどうだったのか。

回答 1日あたり一桁だったと思う。だから長電が撤退した。今利用者が伸びているのは、運賃が無料というのが大きいの。10月から有料になるが地域の声も聞きながら料金設定を考えなければならぬ。楽ちんバスをどう守っていくかが、今後の課題。

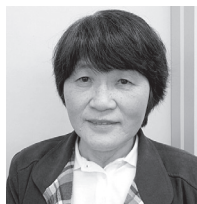
「議会に取り組んでもらいたい施策」シール投票結果（単位：人）

施策内容	会場	北部	東部上	南部	東部下	西部	計
	参加者数	27	38	24	30	54	173
①観光商工振興策		2	20	1	4	2	29
②農林水産業振興策		2	0	10	5	21	38
③子育て・教育振興策		1	1	1	11	5	19
④高齢者・障がい者・健康福祉施策		16	11	10	2	14	53
⑤都市基盤・生活環境の整備（下水道、道路側溝など）		2	0	0	6	11	19
⑥行財政運営・行政サービスの向上（税・窓口など）		3	3	1	1	1	9

みんなのひろば

森を吹き抜ける風 コカリナ

山ノ内町には、20年前の長野オリンピックをきっかけに誕生した楽器「コカリナ」を演奏する「志賀高原森のふくろうコカリナ合奏団」があります。大人が練習する「風の森」「エーデルワイス」「われもこう」のグループに加えて、子どもたちが練習するグループがあります。この子どもたちのグループ「キッズコカリナ」の練習風景を、山本朝子さんの指導をされている山本朝子さんにお話を伺いました。



山本朝子さん
子どもたちのグループ「キッズコカリナ」の練習風景を、山本朝子さんの指導をされている山本朝子さんにお話を伺いました。

練習・構成員

毎月第1、第3土曜日の午前10時から11時半まで練習しています。町内の3小学校の小学1年生から6年生までの子どもたちと中学生約20人で構成されています。年度当初に小学生に向けて募集のチラシを配布しますが、いつでも入ることができます。3小学校から来ていることで、中学へいってもつながりが持てます。

練習風景

「ド」の音合わせから始



練習風景



バリトン
3連
ソプラノ
4連
ソプラノ
シーバス

これまでの活動

めて、みんなの音が合うように音階を練習します。レパートリーの曲やコンサートで披露する曲を山本一校さんのピアノ伴奏とともに一曲一曲丁寧に練習していきます。初めての曲でも楽譜を見ながら回数練習すると吹けるようになっていきます。集中して練習しているので、1時間半が大変短く感じるほどです。

今までに山ノ内町の芸能祭、森林祭、生涯学習フェスティバルや、町から依頼されたコンサートなどに参加しています。そのほかに

今後に向けて

コカリナの誕生のきっかけとなった黒坂黒太郎さんのコンサートに参加し、長野市民芸術館や上田市サントミューゼでも演奏しました。そのためどんな場所でも堂々と吹くことができますようになっています。

この町で誕生したコカリナなので、これからも演奏してくれる子どもたちを増やして、「後継ぎ」を作っていきたいです。

子どもたちの演奏をきっかけに、お母さんやお父さんたち大人もコカリナに親しんでくれる人が増えてほしいです。



交流会での発表

コカリナとの出会いと魅力

コカリナの演奏を娘さんと聴きに行つてその音色に魅かれたのが、コカリナとの出会いでした。長野オリンピックで吹いたり、自然を大切にとの思いを伝えるソルトトレックまで演奏に行つたりして楽しく活動してきました。教員をやめてから、山ノ内の子どものためのチームがほしいと願い始まった「キッズコカリナ」の「木」も7年になります。コカリナは手のひらに収まるほどの楽器で持ち運びも簡単であり、山ノ内町で生まれた楽器なのでコカリナの魅力がこれからも伝えていきたいです。



山本一校さん

山本朝子さん

小林民夫君を 偲んで

突然の訃報に接し、ただ茫然とするばかりでした。60代半ばで「幽明界を異にする」とはあまりにも早すぎたのではないかと言葉もありません。

入院後まもなく副議長とともにお見舞いに伺ったときは、少し疲れた様子ではありましたが、「早く元気になって、またみんな町のために頑張ろう」との声掛けに、はつきりと応えていた顔が浮かんできます。

民夫君は独特な感性で、観光振興に対する一般質問が印象的でした。今回の議会だより「みんなのひろば」が民夫君の最後の担当記事となつてしまいました。議会活動も人生も道半ばで、さぞかし無念であったことと思います。

私たち議会にとつても残念なことです。

ここに、小林民夫君のご冥福を心よりお祈りいたします。

合掌
議長 西 宗亮